

今年の課題図書

『わたしたちのカメムシずかん』 鈴木 海花／文 はた こうしろう／絵

(福音館書店)



校長先生の一言から、臭くてやっかいもののカメムシを調べ始めた子どもたち。カメムシを何種類も調べて記録していくうちに、みんないつのまにかカメムシ探しが日課になり・・・。

『ゆりの木荘の子どもたち』 富安 陽子／作 佐竹 美保／絵

(講談社)

住人の一人に、ときどき聞こえる手まり歌。どこかで聞いた歌のようだけど・・・今は老人ホームとして使われている「ゆりの木荘」。その歌を歌いはじめると、玄関ホールの古時計の針が逆回転し、おばあさんたちは時を超え子どもに・・・。



『ぼくのあいぼうはカモノハシ』 ミヒヤエル・エングラー／作 杉原 知子／絵

はたさわ ゆうこ／訳 (徳間書店)



ドイツの男の子ルフスは、人間のことばをしゃべるカモノハシ・シドニーと出会い、2人でオーストラリアを目指します。オーストラリアにはどうしたら行けるのか？バス？ポート？それとも・・・。無事オーストラリアにたどりつけるのか？

『カラスのいいぶん』 嶋田 泰子／著

岡本 順／絵 (童心社)

街にくらすカラスはゴミをちらかしたり、いかくしてこわがらせたり、悪いイメージばかりですが、カラスにもいいことがあるみたいで・・・。意外と知らないカラスの子育てやなわばりなど、よく観察してみるといろんな姿がみえてきます。



過去の課題図書

2020年

『青いあいつがやってきた！？』 松井 ラフ／作 大野 八生／絵

(文研出版)

『ねこと王さま』 ニック・シャラット／作・絵 市田 泉／訳

(徳間書店)

『ポリぶくろ、1まい、すてた』 ミランダ・ポール／文 エリザベス・ズーノン／絵

藤田 千枝／訳 (さ・え・ら書房)

『北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと』 中山 由美／文・写真

秋草 愛／絵 (学研プラス)

2019年

『かみさまにあいたい』 当原 珠樹／作 酒井 以／絵 (ポプラ社)

『子ぶたのトリュフ』 ヘレン・ピーターズ／文 エリー・スノードン／絵

もりうち すみこ／訳 (さ・え・ら書房)

『そうだったのか！しゅんかん図鑑』 伊知地 国夫／写真 (小学館)

『ハチごはん』 横塚 眞己人／写真と文 (ほるぷ出版)

2018年

『レイナが島にやってきた！』 長崎 夏海／作 いちかわ なつこ／絵

(理論社)

『森のおくから』 レベッカ・ボンド／作 もりうち すみこ／訳 (ゴブリン書房)

『最後のオオカミ』 マイケル・モーパーゴ／作 黒須 高嶺／絵 はら るい／訳

(文研出版)

『すごいね！みんなの通学路』 ローズマリー・マカーニー／文 西田 佳子／訳

(西村書店)